

ホームページ掲載内容

同意の取得について：

今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：

食道切除術におけるリンパ節郭清効果について治療的郭清と予防的郭清を比較する後方視的観察研究

研究責任者：

食道胃外科 峯 真司

研究分担者：

食道胃外科 橋本 貴史、那須 元美、藤原 大介、尾崎 麻子

研究の意義と目的：

この研究は、食道癌の手術において適切なリンパ節切除範囲はどこまでなのかを調べることを主な目的としています。

そのため、過去に食道癌の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

リンパ節転移と再発について、特に治療前の診断に注目して検討する予定です。

観察研究の方法と対象：

本研究の対象となる患者さんは、食道癌の方で、西暦2010年1月1日から西暦2017年12月31日の間に食道胃外科で食道切除術（手術）を受けた方です。

研究に用いる試料・情報の種類：

利用させていただくカルテ情報は下記です。

診断名、年齢、性別、検査結果

（血液検査、CTやPETなどの画像検査、病理学的検査）、外来での経過

研究解析期間：

承認日 ～ 西暦2021年12月31日

研究対象者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013年10月 WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日一部改正）に従って本研究を実施します。

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。
また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、食道胃外科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。

従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。

なお、本研究の責任者および分担者は、順天堂医院医学系研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、その審査を受けております。

なお、この研究の結果が特許権等の知的財産を生み出す場合は、患者さんに帰属することはありません。

お問い合わせ先：

本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障が無い範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることは有りません。

順天堂大学医学部附属順天堂医院
食道胃外科
電話：03-3813-3111（内線）3333
研究担当者：峯 真司